

※本サービスは登録衛生検査所による検査証明書を発行致しますが、医療を目的とした疾病の診断をすることはできません。体調にご不安な方はかかりつけの医療機関にご相談ください。また、定期的に医療機関での健康診断を受けましょう。

調べてみよう、ピロリ菌

胃がんリスク検査(ピロリ菌)

検査項目		関連する疾患
ヘリコバクター・ピロリ抗体	ピロリ菌に感染したときに体内で作られる、抗体を検査します。	胃がん、慢性胃炎
ヘリコバクター・ピロリ抗原	便にピロリ菌が存在しているかどうかを検査します。	胃がん、慢性胃炎

検査項目の一般的見解

一般的に、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染は胃炎や胃がんのリスクを高めることがよく知られています。

ヘリコバクター・ピロリ菌が体内に存在すると、体はヘリコバクター・ピロリ菌に対抗するための抗体を生成し、一部は尿に排出されます。ヘリコバクター・ピロリ抗体検査は、尿中に抗体が存在するかどうかを調べ、感染歴を調べる検査です。ただし、ピロリ菌の除去治療を受けた後も抗体が検出されることがあります。また、ピロリ菌は主に胃と十二指腸に感染するため、その一部は便中に排泄されます。ヘリコバクター・ピロリ抗原検査は、便中にヘリコバクター・ピロリ菌（抗原）が存在するかどうかを調べ、現在の感染状態を確認する検査です。

検査方法

